

平成 29 年 2 月 21 日

# 『千代田区内の都道「白山通り」の街路樹の取扱いに関する陳情』の趣旨採択に伴う説明会資料

## 【陳情の趣旨採択について】

白山通りの街路樹の伐採等について都議会に対して 6 件の陳情があり、平成 28 年 12 月 15 日の都議会本会議において 6 件のうち 1 件が趣旨採択<sup>\*</sup>され、5 件が不採択となりました。趣旨採択された件名と願意は以下のとおりです。

(件名) 千代田区内の都道「白山通り」の街路樹の取扱いに関する陳情

(願意) 都において、千代田区内の都道「白山通り」について、地元千代田区議会の決定を尊重し、次のことを実現していただきたい。

1. 平成 28 年 12 月に予定されている 27 本の街路樹の伐採を性急に行わず一旦立ち止まること。
2. 街路樹の扱いについて、一般住民等への説明会を開くなど、懇切な対応を時間を掛けて行うこと。
3. 1 本でも多くの貴重な街路樹を生かすよう対応をすること。

(参考) 千代田区議会の決定事項

1. 神田警察通りⅠ期工事については、イチョウ並木を保存するため整備内容を見直すこと。
2. 区道の街路樹については、安全安心を基本に計画的に樹木医の診断を行い、維持管理等に取り組むこと。
3. 区道の整備については、専門的見地を踏まえ、街路樹のあり方を含め指針等を策定すること。
4. 東京都に対し、区の方針を反映できるように要望すること。

(※議決結果は、基本的に採択・不採択・趣旨採択の 3 通りです。趣旨採択とは「趣旨に沿うよう努力されたい」との意見付き採択です。)

## 【今後の整備方針】

1. 西側の工事は、千代田区の方針と都の技術的再検討結果のすり合わせを行うまで休止。
2. 東側は、すでに樹木は伐採済みであり、電線共同溝本体設備も半分以上設置していることから工事を再開し、無電柱化を完了させ、イチョウ（若木）を植える。

## 【白山通りの無電柱化事業の概要】

### — 災害に強い街づくりにむけて —

東京都は、「都市防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を目的に、国や区市町村、電線管理者と連携し、無電柱化を積極的に推進してきました。

東京都第一建設事務所では、平成26年12月に策定された東京都無電柱化推進計画においてセンターコアエリア内の無電柱化を推進するという目標に基づき、白山通りの無電柱化事業を進めており、平成31年度までに完了させることとしています。

地震や台風等において倒壊した電柱や電線は、通行人を危険にさらしたり住宅の損壊をもたらすだけでなく、道路をふさぐことにより、避難活動、緊急車両による救急活動、支援物資等の運搬、その後の復興作業などに大きな支障を及ぼします。

阪神淡路大震災では地震により約8,100本、東日本大震災では津波により約56,000本の電柱が倒壊しました※。



阪神淡路大震災で倒壊した電柱※



台風で倒壊した電柱※

(※出典：国土交通省 HP <http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chicyuka/index.html>)

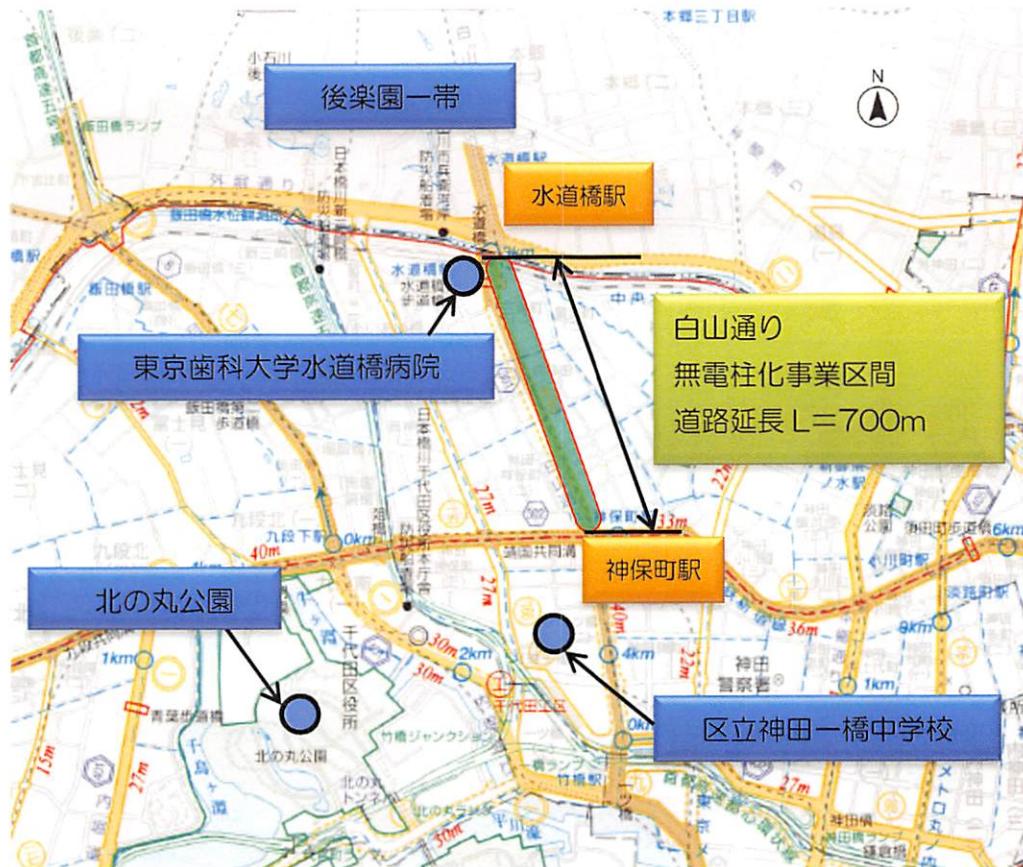
### 白山通り無電柱化事業の目的

#### 「都市防災機能の強化」

災害時に電柱の倒壊による道路閉塞を防ぐとともに電線類の被災を軽減し、電気や電話などのライフラインの安定供給を確保します。

白山通りの当該区間は、以下のような重要な役割を担っている道路ですが、千代田区内の都道で唯一、無電柱化が実施されていない区間です。

- 災害時退避場所※（北の丸公園、皇居東御苑）、避難場所（文京区後楽園一帯）、緊急医療支援病院（東京歯科大学水道橋病院）、避難所（区立神田一橋中学校）などへの移動経路（図1参照）  
※（災害直後の危険や混乱を回避し、身の安全を確保するための一時的な退避場所）
- 緊急輸送道路  
※ 地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うための道路



(図1 白山通り工事施工箇所案内図)

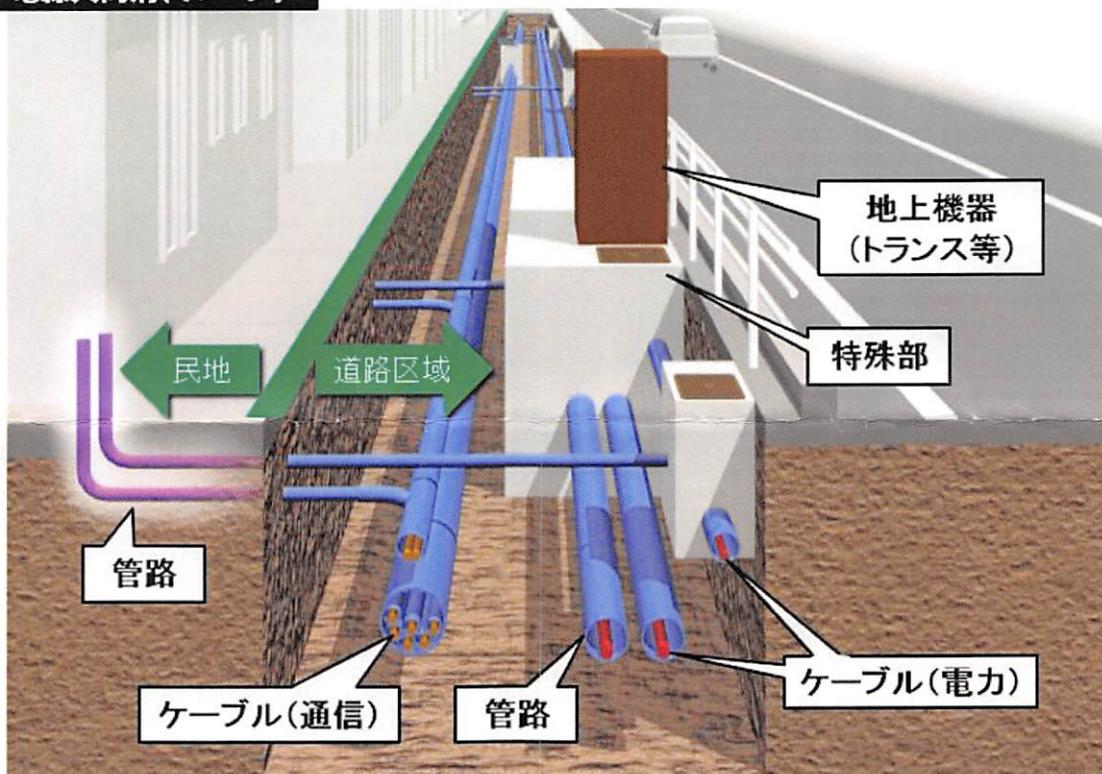
「良好な都市景観の創出」  
視線をさえぎる電柱や電線をなくし、都市景観の向上を図ります。

## 白山通りの無電柱化の整備方法

○本事業は、NTTがすでに埋設している施設を利用することで、工期の短縮と費用の軽減を図っています。

○電線共同溝の地上機器や特殊部など（図2参照）の設置に支障になるイチョウの木については、必要最小限の伐採をしなければなりません。すでに東側は伐採済みです。伐採した付近には工事完了後、イチョウの若木を植えて良好な都市景観の創出に努めてまいります。西側は、平成28年12月から伐採する予定でしたが、今回の趣旨採択を受け工事を一旦休止しています。

電線共同溝（イメージ）



（図2 電線共同溝イメージ）

電柱に架空されていた地上の電線類を地下に埋設し無電柱化を行います。

（出典：国土交通省HP [http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chichiyuka/chi\\_14.html](http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/chichiyuka/chi_14.html)）

### 実施及び計画年次

平成26年度 測量、試掘、設計

平成27年度 既設埋設管の移設工事

平成28年度～平成31年度 本体工事・宅地への引込管工事等

お問い合わせ先

東京都第一建設事務所 工事課

赤崎(アカザキ)、佐野(サノ)

TEL03-3542-1296